

# タイの美しい布

瀧澤久仁子コレクション

## 祈りをつづる染と織

2009年6月27日(土)―8月9日(日)

休館日: 第1月曜日(7月6日、8月3日)

開館時間: 10:00-18:00(毎週金・土曜日は20:00まで)

\* 入場受付は閉館の30分前まで

観覧料: 一般800円(640円) / 高校・大学生560円(450円) / 小・中学生無料

\* ( )内は前売り、団体30名様以上、および市内在住60歳以上の料金

\* 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(6月21日まで)、  
千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口  
(8月9日まで)にて販売。

主催: 千葉市美術館

後援: タイ王国大使館

助成: 財団法人 花王芸術・科学財団

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311(代)

<http://www.cma-net.jp>

# 祈りをつづる染と織 タイの美しい布



1



2



3



4



5



6

染織家であった故・瀧澤久仁子氏は、ラーナー朝の古都チェンマイに暮らし、一枚の布・タイ・デー族のパービエン(肩掛け)と出会ったことをきっかけに、周辺諸国を巡りながら、タイ族をはじめとするアジア民族の美しい布を丹念に収集、膨大なコレクションとして遺されました。

瀧澤コレクションの概要は、すでに「太陽と精霊の布」展(2004年 千葉市美術館ほか)において公開されましたが、本展覧会は、さらにコレクションの調査を進め、瀧澤氏が最も愛したタイ族の布文化という視点を深めようとするもので、多くの作品が初公開となる選りすぐりの191点により構成されます。

高度な染と織の技術を持ち、美しい布を作る“タイ族”。ここでそう呼ぶのは、タイの国に住む人々のことだけを意味するのではなく、遠い古代に北方から移動して、現在のタイ、ラオス、中国、ベトナム、ミャンマー、インドを含む地域に住む民族のことを意味しています。家族の守護や豊かさといった祈りを込めながら、母から娘へ伝えられてきたタイ族の精神と美意識は、布にどのように表現されているでしょうか。瀧澤氏自身が旅の中で撮影された写真も合わせてご紹介いたします。

今では機械産業、商業主義に主導された感のある布の世界ですが、手仕事の美の生きるタイ族の布の粋を、この機会に是非ご覧ください。

- 1 タイ・ルー族の男性の肩掛け(パー・チュ)と上衣
- 2 タイ・ブアン族の女性の肩掛け(パー・ビエン)
- 3 タイ・ルー族の筒型スカート(パー・シン)/ラオス ムアン・ペーン  
\*裾の赤と青の布は未婚の印
- 4 タイ・ルー族の女性たち  
瀧澤久仁子氏撮影
- 5 タイ・デー族の蚊帳の飾り布
- 6 タイ・デー族の筒型スカート(パー・シン)の部分/ラオス サムヌア

## 関連企画

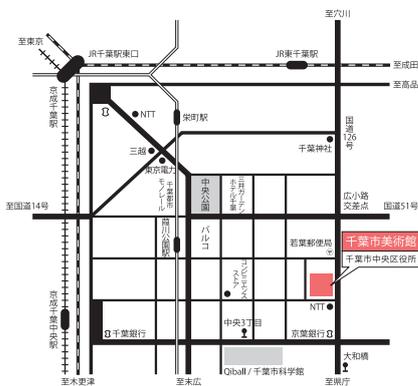
- 記念講演会「タイの衣服と布にみる民族の心そして生活」  
7月12日(日) 14:00より  
11階講堂にて/先着150名様/聴講無料  
講師:吉村紅花(文化学園服飾博物館 学芸員)
- Thitipol Kanteewong(ティティボン・カンティエウォン)コンサート  
「メコンの精霊」(2回公演)  
\*注目の若手タイ音楽家が伝統楽器を演奏します。  
7月17日(金) 18:00より/7月18日(土) 14:00より  
1階さや堂ホールにて/先着150名様/無料  
\*開場は開演の30分前を予定しています。  
\*当日開館時(10:00)より、8階受付で整理券を配布します。  
ただし整理券配布順がご入場の順番とはなりませんので、ご了承ください
- ワークショップ「タイ・カービング」(事前申込制/高校生以上)  
\*タイ・カービングの技法を使って、石けんから蝶の形を彫り出します。  
8月1日(土)第1回 11:30より、第2回 13:30より、第3回 15:00より  
11階講堂にて/定員 各回8名様/無料  
講師:中村富士男(タイ教育・文化センター講師)  
[申込方法]往復葉書に住所、氏名、電話番号、希望する時間をお書きの上、〒260-8733 千葉市美術館「タイの美しい布」ワークショップ係までお送りください。(7月17日締切。当日消印有効)
- 学芸員によるギャラリートーク 7月1日(水) 14:00より
- ボランティアによるギャラリートーク 7月1日以外の会期中毎週水曜日

## 同時開催

- I 「石井光楓—バリの青春」 7階展示室  
房総出身の石井光楓(1892-1975)は、大正時代に欧米に渡り、本格的に洋画を学びました。滞欧時代を中心に、バリの画壇でも高い評価を受けた光楓の画業を振り返ります。
- II 「こんな作品あったよ～中学生が選ぶ所蔵作品展～」 7階展示室  
前年度に市内の公立中学校で展開された鑑賞授業の成果をもとに構成する展覧会です。各学校から推薦された作品の中から、中学生の言葉を添えてご紹介します。  
\*「祈りをつづる染と織—タイの美しい布」展をご観覧の方は無料

## 関連企画

- 講演会「石井光楓の生涯とその画業」  
7月11日(土) 14:00より  
11階講堂にて/先着150名様/聴講無料  
講師:大久保守(千葉県立中央博物館 海の博物館 研究員)
- 市民美術講座「若き画家たちの挑戦—石井光楓とその時代」  
7月25日(土) 14:00より  
11階講堂にて/先着150名様/聴講無料  
講師:田辺昌子(当館学芸課長代理)
- 中学生のためのギャラリーグループ'09  
子どもだけの来館と鑑賞をサポートします。一人でもグループでも参加できます。  
事前申込不要、参加無料。参加希望の方は直接会場へお越し下さい。  
7月30日(木)、31日(金)、8月1日(土) 13:00-16:00(随時受付) 会場:7階展示室



### [お知らせ]

2009年9月初旬より改修工事のため休館します。休館中、1階さや堂ホール、千葉市立郷土博物館、千葉市民ギャラリー・いなかにて所蔵作品の展示を行なう予定です。詳細はお問い合わせください。なお次回展覧会は、「第41回 千葉市民美術展覧会」3月6日(土)-3月26日(金)となります。

### [交通案内]

- ◎ JR千葉駅東口より
- 徒歩約15分
- 千葉都市モノレール県庁前方面行「葺川公園駅」下車徒歩約5分
- バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ◎ 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- ◎ 東京方面から車では京葉道路または東関東自動車道で官野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車。国道51号を千葉市街方面へ約3km広小路交差点近く。
- ◎ 地下に駐車場があります。

## 千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉県千葉市中央区中央3-10-8  
tel. 043-221-2311 / fax. 043-221-2316  
http://www.ccma-net.jp